

# きょうさいだより



NCC長崎文化放送賞 本村 國雄 【棚田の田植え風景】

## 理念

博愛の精神  
人の和  
自己研鑽

## 目標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

## I N D E X

- 院長挨拶、形成外科新設のご案内…………… p.1
- 脳卒中市民公開講座のお知らせ、写真コンテストの審査結果発表…………… p.2
- 診療活動の現況…………… p.3
- 新採用医師の紹介、第48回西日本ブロック体育大会報告…………… p.5
- 戦争の頃の回想、共済病院生け花賞について、編集後記…………… p.6
- 外来診療担当表…………… p.7



病院構内の崖地には、本年より新しく佐世保市の花となったカノコユリ(鹿子百合)の茎が伸びはじめ、本年度の共済だよりも第2報となりました。今回は、健康に関して食事の食塩量について書いてみます。昨年私が佐世保に赴任してきた頃、共済病院で患者さんに提供する病院食の一日の食塩量は11グラムを超えていることがありました。しかし、食塩摂取量が多いと脳卒中発生を増やし、同時に食道癌、胃癌の発生も増やすことがデータとして示されています。そのため、脳卒中の学会も癌の学会も一日量として6~7グラム位を推奨しています。ところが、日本の食事からの食塩摂取量は全国的に11グラムを超えているのが現状のようです。そこで、佐世保共済病院では給食課が努力して、現在患者さんに提供する食事の一日の食塩量を7~10グラムまで落としてくれております。入院されている患者さんは、病院食の塩気が足りないと感じられる方があるかもしれませんが、私どもの意図を理解していただきたいと思っております。そして、入院中に味わった塩味の程度を退院されてからも家庭の食事で続けていただきたいと思っております。脳卒中にしても消化器癌にしても、予防するに越したことはありません。

## 形成外科新設のご案内



よしだ たつや  
芳田 辰也

- 出身地 大阪  
清風南海高校  
産業医科大学卒業
- 主な職歴
  - ・H4年 京都大学形成外科
  - ・H7年 九州大学整形外科
  - ・H12年 京都大学形成外科  
(九州大学整形外科より国内留学)
- 専門領域  
手の外科、四肢・頭頸部再建
- 所属学会
  - ・日本形成外科学会
  - ・日本整形外科学会
  - ・日本手の外科学会

本年4月より当院に形成外科が新設され、私が担当させていただくことになりました。形成外科の守備範囲は広く先天奇形(唇裂、口蓋裂、小耳症、多指症、合指症など)・熱傷・顔面外傷(骨折、顔面神経麻痺、鼻涙管損傷など)・皮膚腫瘍、癍痕形成、難治性潰瘍、眼瞼形成、再建外科、手の外科、美容外科など多岐に渡っています。また、他科との関連疾患も多く、共同で手術を行う場合もあります。特に当科では再建外科に力を入れており、この4月からは24時間体制で切断肢指再接着を行うように致しました。今後長崎県北部地区でこの分野の中心的存在になれるようがんばりたいと思います。

全国的に中規模以上の病院に形成外科が新設されるようになり、大分認知されるようにはなってきましたが、まだまだ患者さんが直接形成外科を受診することは少なく、地域の開業医の先生方のご紹介で成り立っているのが現状です。

今後地域の患者さんのQOLの向上や悩みの解消を目指していきたいと思っております。どんなささいなことでもけっこうですので、形成外科的に困っている患者さんがいればご紹介下さいますようお願い致します。

## 脳卒中市民公開講座のお知らせ

テーマ

**脳 の 世 紀**

◆期 日：平成14年8月10日(土) ◆場 所：アルカスSASEBO 中ホール

開会挨拶：佐世保共済病院 福井仁士院長	13:00
挨拶：佐世保医師会 山口國行会長	
講演：1.『脳を守り活かすコツ』	
植村研一先生(浜松医科大学名誉教授、愛知医科大学教授)	13:10～14:20
休憩	14:20～14:30
2.『脳ドックとは』	
端和夫先生(札幌医科大学名誉教授、脳ドック学会理事長)	14:30～15:30
3.『脳血管内治療とは』	
後藤勝弥先生(太田記念病院副院長)	15:30～16:30
4.『もやもや病、小児に多い脳卒中』	
福井仁士院長(九州大学名誉教授、佐世保共済病院院長)	16:30～17:00
閉会挨拶：佐世保共済病院 福井仁士院長	17:00

●主催：佐世保共済病院 ●後援：佐世保市、佐世保医師会、長崎新聞社、NHK長崎放送、長崎文化放送

## 写真コンテストの審査結果発表

事務部長 山崎 透



佐世保市長賞 水田 孝【春の佐世保公園】

去る4月8日、当院の創立90周年記念事業として『長崎県北の自然』をテーマとした写真コンテストの選考会を行いました。

選考委員は、福井院長を始め、光武市長、写真作家 北野末吉氏、長崎新聞社 梅原絃児氏、NCC長崎文化放送 河合信幸氏、及び院内委員2名の合計7名です。

応募総数275点のうち、特別賞4点、優秀賞16点、入選80点を厳選いたしました。何れの作品も県北地域の美しい自然を対象として、絶妙なシャッターチャンスで捉えた力作ばかりで、選考に大変苦勞いたしました。多数のご応募有難うございました。

なお、入選作品については作者のご了解を得て、病室等に掲示させていただきます。



佐世保共済病院院長賞 小山 保則【対馬瀬灯台】



長崎新聞社賞 森本 孝子【棚田の初秋】



〈はじめに〉 産婦人科の診療内容をご紹介します。診療分野は不妊症や更年期のホルモン補充療法を中心とした内分泌領域、胎児の評価や妊娠・分娩に関連した周産期医療、そして子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣・子宮癌を主とする腫瘍性疾患など広範囲に亘ります。2001年の診療実績表(次頁)を掲げて、個々の分野についてご紹介致します。

〈不妊症〉 不妊症については排卵誘発、人工受精などのクリニックレベルの治療から始めて、難治性の子宮内膜症が原因と考えられる例や、原因不明の機能性不妊に対しては腹腔鏡による観察や治療を行います。それでも妊娠できない場合には最終的に体外受精・胚移植を行っていますが、体外受精の2001年の妊娠率はほぼ全国平均と同じでした。また昨年より受精卵の凍結を開始しており、多数の受精卵が得られた場合には、初回の胚移植で子宮内に着床しなくても、凍結していた残りの受精卵を融解して何度でも胚移植が可能となり、患者様の負担が軽くなりました。(写真1・2)

〈ハイリスク妊娠例〉 排卵誘発や体外受精・胚移植によって妊娠に成功すると、多胎妊娠の数が多くなり、常時取り扱わなければならないという問題も起こってきます。このようなハイリスク妊娠例として、他には結婚年齢の高齢化や仕事を続ける妊婦さんの増加による切迫早産や、インシュリン依存性の糖尿病合併の妊娠などがあります。いずれも最近増加傾向が見られるものです。ハイリスク妊娠から生まれた新生児は、多くの場合何らかのNICU(新生児集中治療)的な管理が必要となるため、できるだけ小児科とのミーティングを行って、周産期医療の面でも対応を考慮しています。



写真1 採卵直後の卵子の選別



写真2 3個の受精卵(媒精後18時間)

〈婦人科の手術〉 婦人科の手術については侵襲を少なくするために、良性卵巣腫瘍に対してはできるだけ腹腔鏡による手術を、一部の子宮筋腫には内視鏡（子宮鏡）による筋腫切除術を施行しています。また最近増えている若年者の子宮頸癌で初期のものでは、以前からレーザーによる病変部の円錐状切除を行い子宮の温存を行ってきました。子宮癌に対しては手術や放射線による根治的な治療法が確立していますが、一方増加傾向にある卵巣癌では、タキサン系の化学療法剤が認可され、適応となる薬剤の種類も多くなり、手術療法との組み合わせにより進行癌でも癌と共存される長期生存の方も少なくありません。

〈高齢化社会〉 ところで高齢化社会を迎えて、婦人科の診療内容も変わりつつあります。1つは子宮脱や膀胱脱が増えてきたことで、治療としてはペッサリーを用いた姑息的な方法もありますが、最終的には手術が必要となります。この手術は身体的負担が少ないために、最近では高齢者の方の手術が急増しています。もう1つは更年期の女性を中心としたホルモン補充療法です。マスコミにも取り上げられるようになり、骨粗鬆症や高脂血症の予防に有効であるという知識が普及し、関心が高まっています。骨密度については最も良く反映するとされるDEXA法による測定を行っていますが、希望者がまだ少なく、一般検診レベルまで普及したいと考えております。閉経後女性に対する予防医学の面で、これから産婦人科医の果たす役割は低くはないと思います。

〈おわりに〉 産婦人科全体が直面している問題について述べます。産婦人科を志望する医師の比率が年々減少して、どの大学でも病院からの医師の派遣要請に対応できなかつたり、関連病院から撤退せざるを得ない事態も生じているようです。スタッフの増員が望めない現状では、診療所や病院の先生方と連携して、紹介を受けるだけでなく逆紹介も円滑に行い、いわゆる役割分担を明確にしていくことが今後の課題の1つではないかと思えます。情報交換を目的として、4月から症例検討会を開始させて頂きました。できるだけオープンな雰囲気の中で、本音で語り合える会になればと思います。先生方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 診療案内

##### ●外来診察日

月曜～金曜まで午前中毎日(担当医は裏面参照)

##### ●不妊治療

体外受精も行っております。

##### ●子宮癌検診

随時行います。詳細は外来へお尋ね下さい。

平成13年婦人科手術症例(415例)

子宮筋腫・子宮腺筋症	174例
子宮内膜症	4例
不妊症	11例
良性卵巣腫瘍	86例
悪性卵巣腫瘍	10例
異形成・上皮内癌	30例
子宮頸癌	12例
子宮体癌・肉腫	17例
子宮外妊娠	20例
頸管無力症	5例
子宮脱	32例
外陰部腫瘍	3例
バルトリン腺疾患	4例
絨毛性疾患	1例
骨盤内炎症	6例

## 新採用医師の紹介



**[皮膚科]**  
いのうえたくや  
井上卓也

- ① 出身大学 佐賀医科大学
- ② 在籍医局 佐賀医科大学
- ③ 卒業年度 H6年
- ④ 専門領域 皮膚疾患



**[産婦人科]**  
どいらなおこ  
土井良順子

- ① 九州大学
- ② 九州大学
- ③ H6年
- ④ 産科、婦人科一般  
不妊症



**[内科]**  
くまふみあき  
久間 文明

- ① 福岡大学
- ② 九州大学
- ③ H7年
- ④ 循環器疾患



**[麻酔科]**  
いなざわあきこ  
稲澤 昭子

- ① 長崎大学
- ② 長崎大学
- ③ H8年
- ④ 麻酔科



**[放射線科]**  
ありかわしゅんじ  
有川 俊二

- ① 愛知医科大学
- ② 久留米大学
- ③ H9年
- ④ 画像診断  
消化管検査治療



**[泌尿器科]**  
おおにた とおる  
大仁田 亨

- ① 長崎大学
- ② 長崎大学
- ③ H8年
- ④ 腎・泌尿器  
男性生殖器疾患



**[整形外科]**  
さいた よしかず  
齋田 義和

- ① 大分医科大学
- ② 九州大学
- ③ H11年
- ④ 整形外科一般



**[放射線科]**  
もり ゆき  
森 有紀

- ① 久留米大学
- ② 久留米大学
- ③ H11年
- ④ 放射線診断



**[皮膚科]**  
よねむら まゆ  
米村 真由

- ① 佐賀医科大学
- ② 佐賀医科大学
- ③ H12年
- ④ 皮膚科一般

## 第48回西日本ブロック体育大会報告

庶務課 森 博紀

新緑も深まりかけた5月18日、熊本市総合体育館において国家公務員共済組合連合会西日本ブロック体育大会が行われました。当大会は、西日本地区の連合会傘下11病院が一同に会し、病院間の親睦を深める目的で開催するもので、今年で48回目を迎える歴史のある大会です。今大会の競技種目であるミニバレーは4人制で柔らかいゴム製のボールを使用し、バドミントンコートで行う競技で、特殊なルール(全て違う選手3人の手を経て相手に返す)を採用しています。

当日は、総勢約200名の選手団入場行進からスタートし、男子、女子、女子混合(年齢制限あり)の3ブロックに分かれ熱戦が繰り広げられました。試合の結果、当院は男子4位、女子4位、女子混合優勝となり、総合3位という成績でした。来年は四国高松で開催予定ですので観光も楽しみです。まずは大会での優勝目指して頑張りたいと思います。

私が佐世保共済病院看護婦養成所に入学したのは昭和14年4月のことでした。その頃から戦時色が濃くなり、私達も軍属として取扱われることになりました。

昭和16年12月に大東亜戦争が始まると美しかった白亜の建物は薄黒く塗られ、私達が毎日磨いていた階段の真鍮の手すりも窓の取手も病棟の湯沸し器も皆供出させられて哀れな姿になってしまいました。

医師も薬剤師も看護婦も、中国・満州・南方へと次々と召集され、病院業務は多忙を極めるようになりました。昭和18年頃からは裏山に防空壕が掘り始められ、看護婦も兵隊さんの指揮の下に交代で土掘り、土砂運びをさせられました。

昭和20年6月29日、当日私は薬局勤務でした。雨が降っていたので玄関に出てみると、鎮守府方面に炎が上がり、空からはシューシューという音と共に焼夷弾が降ってくるのでした。当宿医は外科の加藤五郎先生、薬局は坂井透先生、私は本館保安の消火器係でした。

間もなく松尾先生が駆けつけてホースをつなぎながら屋上に登り、消火を始めました。第1ホースは松尾先生、第2ホース係の私は火の中の先生を守る為に水を掛ける役でした。屋上の木材が焼け、コンクリートに水をかけると湯のようになって私の足首にも火ぶくれが出来ていました。時々アメリカの飛行機が低空で頭上に飛んできて、届かぬホースの水を向けた程です。幸い水圧が強かった為に何とか消火することができましたが、一息ついて市街を見て驚きました。火の海の中に本院は立っているようでした。

一階には30cmほどの水が貯っており、ようやく水出しが終る頃に患者さんが次々に運び込まれてきて、廊下は2階も3階も一杯になりました。そんな中に当宿の加藤先生の妻子3人と坂井先生の娘さん2人の悲報が知らされたのでした。木と油を持って行って火葬場の外で葬いを行った時のことは、人間の心の外での出来事のように、今思っても苦しく悲しくなります。

当時の事を書き表わす事は、無惨で非常を偲ぶばかりですが、入院患者さん全員を壕まで無事誘導出来たこと、空襲解除になった時の安堵感を今も忍ぶ事が出来ます。寮生の日常品等は多くのものが焼出され、毛布1枚で2~3人のものが助け合って四階講堂、廊下等で寝起きしたものです。

加藤五郎先生は87才で昨年9月永眠されました。



## 共済病院生け花賞について



病院一階皮膚科外来の前の廊下に生け花の飾り場があり、患者さんや当病院職員からきれいな生け花を展示してもらっています(写真)。これらの作品は患者さんや職員の心を和ませるものであり、心から感謝しております。

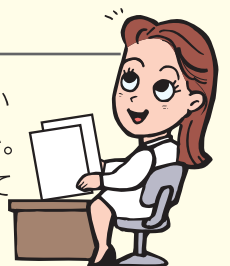
そこで、今後一年間に展示された生け花の中から評価委員により年度末(3月)に優秀賞を選出し表彰することにいたします。患者さんと職員いずれの展示も歓迎します。なお、展示される場合は皮膚科外来看護師の山下好子さんか健診センターの松本恵武子さんにご相談ください。花瓶は用意いたします。

院長

## 編集後記

日々、子供からお年寄りまで幅広いさまざまな人が当院を訪れてきます。そして、その人々との出会いふれあいが新しい物を生み出していきます。この「きょうさいだより」もその一つではないでしょうか。「一期一会」を大切に、これからもより多くの人々に愛されるバラエティ豊かな広報誌を作り続けていきたいと思えます。

編集委員 谷口 友佳子



科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	部長	金谷庄藏			●		●				●		循環器疾患	
	医長	福山邦昭	●				●		●				肝臓、胆嚢、膵臓疾患	
	"	佐藤浩信			●		●				●		消化器疾患、膠原病	
	"	川崎千之	●		●				●				血液疾患	
	"	野口誠司			●				●		●		肝臓、胆嚢、膵臓疾患、消化器疾患	
	"	松見里美	●				●				●		一般内科、消化器疾患	
	"	車忠雄	●				●				●		循環器疾患	
	医員	日高孝子			●		●		●				呼吸器疾患	
	"	石橋貞利	●		●				●				消化器疾患	
	"	大塚容子	●						●		●		腎臓疾患	
	"	久間文明			●		●		●				循環器疾患	
	"	辛島詠司			●						●		循環器疾患、一般内科	
	"	松永圭司	●				●				●		消化器疾患、一般内科	
"	深田光敬	●						●				一般内科		
	糖尿病教室				●		●		●		●		※詳細は内科外来へお尋ね下さい。	
小児科	医長	岡尚記	●		●						●		小児科一般	
	医員	古賀英子	●				●		●				小児アレルギー疾患	
	"	大坪善数			●				●				気管支喘息	
	"	原美智子					●				●			
		乳児健診				●								PM1:00~
		慢性外来						●						水曜PM2:00~
	神経外来							●					水曜PM2:00~	
	喘息外来								●				PM2:00~	
外科	外科顧問	松永章							●				一般外科、消化器科外科、血管外科	
	部長	江里口直文	(●)				●				●		呼吸器外科、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術	
	医長	田山光介	●				●						内視鏡下外科手術	
	医員	田中厚寿	●				●						(●)…月曜の江里口の診療は新患のみ受付	
	"	川畑方博			●				●				※血管外科と呼吸器外科は月曜と水曜の午前	
	"	原田洋			●						●		※月曜~金曜の午後は手術	
	"	柳克司	●										※詳細は外科外来へお尋ね下さい。	
"	朽網留美子							●						
脳神経外科	院長	福井仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科	
	部長	山川勇造							●		●		小児の神経外科、顔面痙攣	
	医員	濱田康宏	●						●				三叉神経痛の外科手術	
整形外科	部長	萩原博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般	
	医長	中家一寿	●		●				●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術	
	医員	小澤慶一					●		●		●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術	
	"	芳田辰也	●		●						●		・脊椎外科、腰部疾患手術	
	"	斎田義和			●		●		●				・肩・手の外科(断肢再接着手術を含む)	
"	水城安尋	●		●		●				●		・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など		
形成外科	医長	芳田辰也	●		●						●		先天性奇形、顔面外傷、瘢痕形成、再建外科など	
皮膚科	医長	井上卓也	●	●	●		●		●	●	●		※火・水・金午後は手術(陥入爪等)	
	医員	米村真由	●	●	●		●		●	●	●		※水曜の午後は入院患者の手術のみ	
													※午後の診察はPM2:00~	
泌尿器科	部長	山田潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患	
	医長	森光浩	●						●		●		体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	
	医員	鳥山浩二			●				●				尿失禁	
	"	大仁田亨			●		●						※火曜の診療は外来までお尋ね下さい。	
産婦人科	部長	木寺義郎	●				●				●		産科・周産期医療	
	医長	鶴地伸宏	●		●		●		●				不妊症・内分泌疾患	
	医員	大塚未砂子	●		●				●		●		体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術	
	"	土井良順子											更年期外来・婦人科疾患	
眼科	医長	園田恭志	●		●		●	●	●		●		白内障手術・眼内レンズ挿入術、緑内障手術	
	医員	小林武史	●		●		●	●	●		●		網膜剥離手術、翼状片手術	
													眼瞼手術、レーザー光凝固術など	
耳鼻咽喉科	医長	後藤弘毅	●		●		●		●	●			アレルギー性鼻炎のレーザー治療	
	医員	林田精一郎	●	●	●		●		●		●		小児の耳鼻咽喉科疾患	
													耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術	
放射線科	医長	大熊一彰	●						●		(●)		MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	富田直史			●		●				(●)		消化管造影、内視鏡検査	
	"	有川俊二											内視鏡下手術(ポリープ切除)	
	"	森有紀											(●)…金曜は各週で担当	
麻酔科	医長	深野拓子	●		●		●		●		●		※月~金午前ペイン外来	
	医員	島本博子	●		●		●		●		●		※月~金午後は手術麻酔	
	"	稲沢昭子												
歯科	医長	七種敏行	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科一般 ※診療は要予約	
神経内科	医員	黒川智美									●		神経内科疾患 一般	